



知床の森から

平成6年8月
第32号

北見管林支局 099-41 北海道斜里郡斜里町本町11番地
知床森林センター 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160



深森林ものがたり

ガイド事業開始 (深森林ものがたり)

知床森林センターでは、本年からガイド事業に取り組むことになりました。ガイド場所は「自然観察教育林」内の自然観察コースと、「知床硫黄山新噴火口」の登山コースです。参加者は知床のすばらしい自然にじかに触れて、あなた自身のオリジナル「深森林ものがたり」を創って頂く、その案内役を森林インストラクターがいたします。知床の自然、原始の面影を色濃く残している森林はあなたになにを語りかけてくるでしょう？ 森林との対話のチャンスを提供します。募集案内用パンフレットもできました。お問い合わせは知床森林センターにどうぞ。

大都会から知床へ

—胸一杯自然体験の旅—

朝学習研究社企画による「秘境知床&サロマ湖の自然体験教室」が、7月23～26日に実施され、24日に知床森林センターが昨年同様にこの企画に受託事業として協力しました。



参加者は子供6名夫婦7組、アメリカの若い男女学生2名を含む総勢25名の一行で、東京とその近辺からの人々です。年齢は子供さんからご老体までは幅広い構成でした。

当日、元気一杯賑やかな一行は「自然観察教育林」を歩きました。この森林は、多くの人々に知床の森を知っていただくために設けられたところです。そしてこの深い森林内には水が溜れたポンホロ沼、エゾユズリハの群落、滝、巨木、多くの植物などが次々に展開し、変化に富むコースです。

みなさんは質問し写真を撮り、説明にうなずきながらゆっくりコースを巡りました。

けもの道を登り下りしながら知床の森を内側から眺め、汗も流して得た体験にみなさんご満悦の様子でした。

◇ 森林と人間社会の関わりを見る ◇

～第6回「森とのふれあい」実施～

30名の参加者を得た「森林教室」「森とのふれあい」は、7月28日斜里～峰浜の海岸沿いと知床5湖で行われました。16才から81才までの年齢構成で北見・網走の両市からの参加です。

今回の主要テーマは人間社会と関わりの深い潮害防備保安林・耕地防風保安林のはたらきと、知床5湖周辺に環境に適応した樹木や植物が湖水と相俟って作りだした景観を森と親しみながら知るといふものです。

斜里以久科では海岸線から内陸に向って変化する植物と、潮風に成長を阻害された樹木が示す潮害防備のはたらき、東西南北に72m巾の防風保安林が耕地を季節風から守っているさまを間近に観察しました。また管林署が管々と造り上げ、いまは立派にその機能を果たしている潮害防備保安林にはみなさん感服のようでした。午後からの知床5湖は深い霧の中、幻想的なムードに浸れました。3湖ではネムロコウホネ(スイレン科)が咲き、霧を透してポーポーとヤマバトの低い声が響いていました。霧の知床5湖、一風変わった舞台設定にみなさん喜んでおりました。



ス 汗!夏山登山 ス

—「国際家族年」を冠してEVENT—

「第23回森林レク in知床」は8月13・23日の両日、国選決選「国際家族年」を冠して「知床硫黄山新噴火口」登山を実施しました。より多くの家族参加を期待して抽選方式を採り、結果参加者は両日で家族13組28名を含む56名でした。今年には知床も異常な暑さで汗だくの登山となりました。登山道入り口からのいきなりの急坂・樹木のトンネルは汗と喘ぎの連続、稜線からは視界が開けますが、その後四つん道いの岩塊登り・火山灰の照り返し・火山燻の急なガレ場登りを経て新噴火口到着です。酷暑が去ると人は解放感に浸れます。ゆとりの帰路は眼下に展開する知床の大樹林・白い航跡を刷いた紺青のオホーツク海を楽しめ、さらに樹木や植物を観察しながら下山しました。平均斜度15度1.3kmの登山は結構辛く、登山道入り口に着いたみなさんは「やりました」というように、じつに好い表情をしていました。

前略
思えば記念すべき今日の日には、
かたじけなく初登りの山登りが、皆んなで、
行ける、ハハハ、
本日は、
お楽しみでした。

大型写真パネル登場

3幅×2.4幅の大パネルが、知床森林センター展示室の南側大壁に2面貼られました。緑が木製のカラー写真です。自然観察教育林を正面から撮ったものと、海岸台地にある森林内の胸高直径138cmのオヒョウニレに周囲の木を配して撮ったものです。どちらもウトロ市街の近くの国有林です。

さきに完成している知床半島立体模型と呼応して、展示室はぐーんと印象を一新しました。訪問客の観覧時間もこれで長引くかも。



人事の異動がありました

8月1日付人事異動で、企画係長の小垣朝幸氏が北見支局指導計画課に転出しました。センターの歩みと共に5年余り、本当にご苦労さまでした。後任に国枝豊氏が白滝管林署より転入しました。今後の活躍を期待します。